



香川県防災士会 会報



第11号 2012.7

防災士の皆様、お久しぶりです。

今年は少し涼しい気がします、皆様いかがお過ごしですか？

夏場の計画停電が実施されなければと願うばかりです。

さて、香川県防災士会も会員数が急増し、120名（7月時点）となりました。

東日本大震災以降、各種講習・講演などの依頼も増えております。多くの防災士に活動して頂くためにも、今後「こんな事を勉強したい」などありましたら是非ご意見をお聞かせ下さい。

全員で、香川の防災と香川県防災士会を盛り上げていきましょう！

会報発行が遅くなり申し訳ありません。

講演・訓練等に参加されましたらご報告お願いいたします。

時々原稿をお願いする方に、こちらかご連絡いたしますので、ドキドキしてお待ち下さい。もちろん「我こそは！」の自己紹介もお待ちしております。

♪今回は、総会報告・活動報告（2件）と自己紹介（3名）です♪

平成 24 年度香川県防災士会総会 <久保会長 記>



平成 24 年度香川県防災士会総会を平成 24 年 4 月 29 日（日）高松テルサ 3 階会議室（高松市屋島西町 2466 番地 1）で開催しました。

開催に先立ち今年度、香川県教育委員会からの依頼を受け、県内の各小・中・高の学校の管理職、防災担当職員を対象に研修を実施することになったことから防災士の HUG スキルアップ研修を実施し、会員は 13 時～同会場に 60 人弱が参加し、ベテランの会員、新会員などが混じり真剣に 2 時間の研修を無事終わり防災教育講習会開に向けての意義を高めた。

総会は会員 79 名が出席し、会長の挨拶あと香川大学工学部危機管理センター長の白木渉教授、高松市総務局危機管課河西課長から祝辞をいただいた。また、香川県防災局長、日本防災士会から祝電をいただいた。

引き続き執行部から 23 年度事業報告、24 年度事業計画を提案。

今年度は会員の急増から各会員同士の顔が見えなくなった、連絡体制に不備がみられるなどの反省から、防災士の基本である地域に根付いた活動をすることが重要であると考え、各支部を設立する準備委員会が提案された。各支部高松は 4 地区（東・西・南・北）、坂出地区（坂出・宇多津）、中讃地区（丸亀・善通寺・琴平）、三豊地区（三豊市・観



音寺)の委員の選出を提案し、承認された。

また、香川県教育委員会に委託された県内4会場で実施する「平成24年度香川県防災教室講習会」開催についての説明と出席要請、また同会から「アドバイザー派遣事業」として県内各小・中・高約70校の防災計画や危機管理マニュアルへの助言と避難訓練への助言について実施することへの説明を行った。

そのほか今年度は各地域に根差した活動をするため「防災士指導者養成講座」のスキルアップ研修を提案し承認され無事終了した。

総会後は来賓を含め42名が出席し恒例の懇親会が行われた。懇親会では各自の自己紹介など和気あいあいの中、香川大学の防災士養成講座ではHUGのような図上訓練も取り入れてみたいとの意見があり大いに盛り上がった。

要 援護者支援 モデルについて <北山定男防災士 記>

経緯 昨年、11月中旬 県 中讃圏域健康危機管理連絡会を中心に、県・市町・医療機関・消防・警察・等関係機関が連携して、自然災害や感染症等による住民の健康被害への対策に、今年度は坂出市をモデルに 新富町・王越地区に、危機管理から打診有り、2地区がね災害時要援護者対策に取組を引き受け、民生委員と地区ワーキングを実施、対象は、モデルとして高齢者として、支援が必要な方を選択・・・最終的に木沢地区の方に決定、支援の為の名簿作成、今年 1 月 県・市危機管理・高齢介護包括支援等が、参加して避難訓練実施、後、関係各位19名で、経過討論後、3月14日大倉ホテルに於いて、パネルディスカッション テーマー モデル地区での取組みに見る災害時要援護者支援について、それぞれの立場から、取組の紹介等発表しました自主防災会については、岩崎会長が、県危機監理課と共に、休眠の掘り起こし活動の展開に取り組んでおりますし香川県の1100自主防災会をどの様にして、掘り起こすかが、今後の課題です坂出市は、69 自主防が有り、担当は、北山です・・・

防災講演 <中村勝政防災士 記>

日時 : 5月18日(金) 14:00~15:40

会場 : 丸亀市飯山町 香川県社会福祉事業団 香川県ふじみ園

受講者: 施設利用者の保護者及び施設職員(52名)

趣旨 : 保護者の高齢化による、災害に対する日常性の不安が日ごと増大している時節をとらえ、日頃のか家庭における防災に対する備えを認識して頂くための意

識の高揚研修

内容 : ①災害の種類とメカニズム

②防災とは <自助・共助・公助>

③家庭での備え (クイズ形式 ふだんの備え 12・災害時の対応 10)

④救急医療情報キット (安心キット)

感想 : 高齢者対象として、クイズ形式の参画型研修を行った為、メモを取るなど熱心に受講して頂いた。後日、数人の方から具体的な問い合わせも頂いた。

会員自己紹介

※ おち越智 かずのり一則 ※

生年月日 1954年4月15日

出身地 愛媛県松山市

現住所 香川県三豊市

2008年4月陸上自衛隊定年退職

2008年4月～富士通特機システム(株)勤務

2007年6月防災士習得・普通救命講習Ⅱ講習修了

資格・免許等

第4級アマチュア無線 (コールサイン JF5RZF)

大型自動二輪 大型自動車 大型特殊自動車 けん引 移動式クレーン

フォークリフト

趣味

ツーリング (ZRX1200)・釣り

防災士会入会の動機

自身の資質の向上および地域の皆様のお役に立てればと思入会

一言

現役のサラリーマンで出張も多く行事に参加することがなかなかできませんが、できるだけ都合をつけたいと思いますのでよろしく願いいたします。

無線については自宅・車・バイクで144MHz・430MHzのFMで交信できます。

※ 秋山俊一 ※

みなさん、始めまして秋山です。

久保会長より、「メールでのやり取りで変わった人だから自己紹介してよ」

という事なので自己紹介をいたします。

私は、昭和生まれの54歳（平成生まれでなく残念）・・・普通のおじさんです。但し、小学生の子供が3人います（若い女の子に見せると、若いおじいちゃんと言われ、否定するのをやめました）上は27歳と26歳の息子&娘が離れた所で人生を歩んでいます。

そんな私がこれまでどう生きてきたかと言えば、学生時代は、出来の悪い劣等生。大学も半年で卒業（親はカンカン）でぶらぶらした後、免許センターで、更新時講習の助手に就く（父親が公務員で）・・・でもまたまた反発し民間へ。

最初、テレビ番組「ザ・ガードマン」のモデルの日本警備保障（若い人は知らないか？）現在のセコムに就職（ここで飛び込み営業を経験・・・その後大きく役立つ）

次に三協アルミの四国支店長に誘われ三協へ・・・三協の時に日本板硝子の所長から両社の代理店の立て直しを要望され、29歳から30歳まで立て直しに奔走し、独立小さな会社を設立。バブルの時代にも遭遇・・・しかし顧客が企業ばかりで、バブルがはじけて設備投資を一気に縮小したため倒産。こんな小さな会社をスタートから支えてくれた下請けの方々に支払いをすませ、自己の借金返済のために・・・。（いろいろと）倒れている訳にはいかず！逃げたくもなく！ある代議士の秘書になり、香川県の事務局次長で借金返済スタート。（2年～政治の世界で）政治の世界でいる間に市民活動に力を注ぐ方々と出会い、また人生が変わる。

その間色々あり、借金返済（よかった）・・・孤独な人生を送ると思っていたら天使のような奥さんと再婚。生活安定のため、日本通運に就職する。のんびりと生きようと思っていたら、社員の指導を要請され、その後日本郵政との宅配便の統合の話が始まり、その業務に携わったためにそのまま日本郵政グループの郵便事業（株）へ・・・現在に至る。

上記の流れの中で日雇いもしたり、市民活動をしている方々を横に結び交流の出来る集まりを作ったり、今は無い市民会館で映画の自主上映会と市民活動展をしたり、中途障害者の施設の施設長をしたり、その他いろいろ・・・楽しい人生を活かされています。出来は悪いおじさんですが、みなさんよろしくお願ひします。

※ 谷口順子 ※

はじめまして、谷口順子と申します。



防災士を知ったのは、昨年テレビで久保会長が紹介されたことでした。（私にとって、会長はアイドルだったりします。フフ）動機は、人の役に立ちたい、地域の役に立ちたいといった「大義」というよりも、何かあったとき自分が慌てない為の知識を求めての受講でした。ただ、防災士の認定を受けたものの、スキルを維持させないと、何の意味もないなと感じていたので、今年の総会で行われた「HUG」研修などはとてもいい刺激になりました。会員交流を含め、年に数回こういった研修を実施していただき、積極的に参加したいと考えています。

最後に、私は観劇が大好きで、よく県外へ逃亡します、防災士の活動と趣味を適度に両立させながら、無理せず長い活動をしてきますので、仲間の皆様、末永く可愛がってくださいね！（可愛がられる歳でもないか？笑）

今後の講師派遣及び行事予定

7/14 スキルアップ研修（応用担架）16:00～18:00

場所：高松市屋島西コミュニティーセンター

7/21 香川県技術士会講演 15:20 ～ 16:50

演題：「身近でできる防災対策」

派遣講師：久保雅和

7/24 四国防災業務推進会議（高松地方气象台）16:00～16:40

演題：「香川県における防災士の活動」～气象台との連携～

派遣講師：久保雅和

8/20 高松市教育委員会 教職員研修 10:00～

高松市役所本館会議室

「避難所運営ゲームHUB」

参加教員数は120名ぐらい

（幼稚園・小学校・中学校・一高の教員）を予定

9/2 香川県総合防災訓練

場所：高松東ファクトリーパーク

（担架搬送訓練を予定）

連絡事項

※香川県防災士会に入会される時点で、登録用紙をご提出いただきましたが、総会でも議題にあがりました「連絡網の整備」を進めていきますので、同封（メール添付）の登録用紙に必要事項をご記入の上、＜高橋＞までご返送お願いします。

太枠内は、必須となっております。なお、連絡網に記載の＜可・不可＞も**必ずご記入**下さい。（不可の方には連絡網をお渡しいたしません）

※今回の会報は、各防災士に郵送させていただきますが、次回からはメールもしくはHPでご確認頂くようになります。インターネット環境が手元にない方のみ郵送させていただきますが、経費削減にご協力いただきますようお願いいたします。